

保健だより



2016年12月
阿南工業高校
13HR 保健委員

エイズは、HIVが感染して起こる病気で、感染から発病まで長い時間がかかります。そのため、感染に気づかず他の人にうつしてしまうことがあります。高校生の皆さんは、エイズやHIVと聞いても、他人事のように感じるかもしれません。しかし、日本では毎年、新規感染者が約1500人を推移しており、予断を許さない状況です。今回は、世界エイズデーにちなんで、エイズ・HIVについて取り上げました。感染を防ぎ、感染を広げないためには一人一人が正しい知識を持ち、それを行動に結びつけることが必要です。それは、皆さんの世代からすでに始まっています。

●日本の現状

先進国の中では“唯一HIV感染者が増加している国”と言われて久しい日本ですが、主な先進国では新規感染者数が横ばいもしくは減少傾向にある中で、依然としてHIV感染者、エイズ患者ともに増加の一途をたっています。2015年の新規HIV感染者・エイズ患者はそれぞれ1,006人および428人で、そのうちの80%以上を日本人男性が占めており、約80%が性的接触による感染です。



●エイズの治療について

HIV、エイズの治療法は日々進歩しており、現在では新しい薬が増え、旧回錠の服用ですむ薬も開発されており、患者さんへの負担も軽減。だから自分のためにも、他人への感染を防ぐためにも、治療は早期に開始することが大セウ。



●HIV検査を受けるメリット

- ・検査で感染していないことがわかれば不安が解消できる。
- ・早く感染がわかると、その後の体調管理もしやすくなる。

●保健所での検査

- ・名前や住所も知らず、無料で検査を受けることができる。
- ・即日検査では、「陰性」と確認された場合、その日に結果がわかる。



阿南保健所 エイズ相談・検査毎週火曜日11~12時 / 夜間検査 28年12月6日(火)

*保健室前の案内パンフレットは自由にお取りください